

## AWC 韓国委員会からのビデオメッセージ

AWC 韓国委員会代表 ホ・ヨング

2019 岩国国際連帯集會に支持と連帯のメッセージを送ります。

安倍政権の弾圧のため訪日できず、このようにビデオメッセージでご挨拶することになり、大変もどかしい思いです。AWC 韓国委員会代表のホ・ヨングです。

朝鮮半島非核化交渉－朝鮮民主主義人民共和国が核を廃棄し、米国が共和国制裁政策を解除し、休戦協定を平和協定に転換するビッグディール交渉－は、現在膠着状態におちいつています。これは日米の軍産複合体と金融投機資本、多国籍資本の妨害がきわめて激しいからだと思ひます。朝鮮半島の平和は、東アジアと世界の平和につながるはずでず。しかし朝鮮半島の非核化交渉が進展せず、朝鮮半島を中心に東アジア地域に軍事兵器と軍隊が集中することで、緊張が高まり、戦争の可能性が高まることが憂慮されます。

他方で、朝・中・露と韓・米・日の対立の中、新冷戦体制が強まるのではないかという懸念が生じています。米国は韓国に対して防衛費分担金を、現在の1兆ウォンから6兆ウォンに引き上げるよう圧力をかけています。これが実現すれば、間接費用を含め防衛費分担金は12兆ウォンに達すると予想されます。そして今も毎年、数兆ウォンの米国製兵器を買わされています。こうなれば朝鮮半島の平和協定交渉は徐々に困難になるかもしれません。

日本では岩国米軍基地が強化されており、攻撃的な飛行訓練が増加しています。米国のミサイル防衛体制と中国封じ込め戦略が強まっているのです。米国と中国間の経済競争に続いて軍事的対決が高まることは、朝鮮半島をはじめとした東アジア地域の軍事的緊張が高まることを意味ます。

いっぽう、私たちは朝鮮半島非核化交渉を語る時、核兵器だけを問題にしてきました。しかし朝鮮半島非核化、さらにアジアの非核化は、核兵器の廃棄のみならず、福島原発事故からも分かるように、原発も同時に廃棄することを前提にすべきでず。しかし不幸にも東アジア地域には原発が密集しています。世界31か国で417個の原発が稼働しており、平均稼働年数は30年と老朽化しています。韓国の文在寅政権は脱原発を主張していますが、実際は原発建設を続けています。中国は2020年までに新規原発20基を建設する予定で、39基が建設計画中で、さらに100機の建設を検討しています。

日本の安倍政権は東京オリンピックを契機に、福島の放射能汚染の隠ぺいをたくらんでいます。この11月10日～12日まで、AWC 韓国委員会として福島の女性を招請し、韓国で講演会と記者会見を行ない、福島の放射能汚染の実態を暴露し、ともに議論しました。安倍政権は、日本帝国主義による朝鮮半島とアジアへの侵略・支配に対する謝罪と補償どころか、韓国大法院の徴用工問題判決を口実に、経済報復を断行して日韓関係を極度に悪化させてきました。米日韓軍事同盟を強めるGSOMIAを破棄したいという韓国の立場に、米国は韓国への全方位的圧力を行使し、GSOMIAを継続延長させ、韓米日三国の軍事同盟を強化すべきと大きな圧力をかけています。

歴史的に資本主義体制の危機は、常に帝国主義戦争へと帰結しました。核発電と核兵器は1つでず。反核・脱核運動を展開していかねばなりません。岩国をはじめ東アジアと全世界に駐屯している米軍基地は撤去されるべきで、全世界に駐屯している米軍は自国に帰るべきでず。

日米帝国主義の侵略に立ち向かう日韓労働者民衆の連帯が切実に求められています。2019 岩国国際連帯集會が実り多いものになることを祈って、連帯のご挨拶とます。

ありがとうございました。